

# 奨学金Q&A

## GUIDE BOOK



医師をめざすあなたへ  
医師になる夢応援します

## PROLOGUE



医学部に合格したぞ！  
医学生になったら勉強をたくさんして、  
部活やサークルも充実させたい！  
いろいろお金がかかるそうだからアルバイトもしないと…  
学びたいことや経験したいことがたくさんあるけど、  
どのくらい時間が取れるだろうか？

## 奖学金制度って何？



A 鹿児島民医連では、私たちの医療活動に共感し、将来鹿児島民医連で働く意志のある医学生を対象に奖学金制度(全学年月額10万円)を設けています。

医学部での生活は学業が大変なうえに、想像以上にお金がかかります。せっかく医師になる夢を持って医学部に合格したみなさんが、アルバイトなど多忙な環境に置かれることなく学業や学業以外の学びに集中できるよう、医療現場で働く職員や私たちを支えてくれている地域住民(患者さんや医療生協の組合員さんなど)の協力で、医学生を応援する制度として設けられたものです。

## 学業以外の学びって？

A 大学だけでは学べない様々なことを学び、経験してほしいと考えています。離島を含む病院実習で鹿児島民医連の医療を実際に見て、触れて、患者さんとの関わりを通じて現場を実感してもらい、なぜ民医連の事業所で働いているのかを学ぶ機会や、医師をはじめ現場の職員や奖学金学生の先輩後輩、他大学の学生との交流の中で、医療をとりまく社会・課題について考える機会もあります。あなたのなりたい医師はどんな医師ですか？奖学金生になって、よりよい医療・社会とともに考えてみませんか？

## 奨学生の学びの場

### 病院実習

鹿児島生協病院をはじめ、関連の医療機関や施設で、随時実習を受け入れています。

実習内容は、一人ひとりのご要望に可能な限りお応えし、オーダーメイドの実習を設定します。鹿児島生協病院での初期研修を検討している4年生以上の医学生については、離島実習(交通費・宿泊費補助)も行っています。お気軽にお問い合わせください。

実習内容(例)

研修医同行実習

手術見学

救急外来実習

訪問診療実習

当直実習

他職種実習

病棟実習

クリクラ



### 奨学生ミーティング

月1回、奨学生が集まり、医師をはじめ多職種スタッフを講師に招いて、学習会や懇談会を行っています。医療情勢や医療現場のお話、社会問題など、幅広い分野の学びを深める機会となっています。医師やスタッフとの交流はもちろん、学年を超えて医学生同士で交流ができます。奨学生以外の医学生の方も、お気軽にご参加ください。

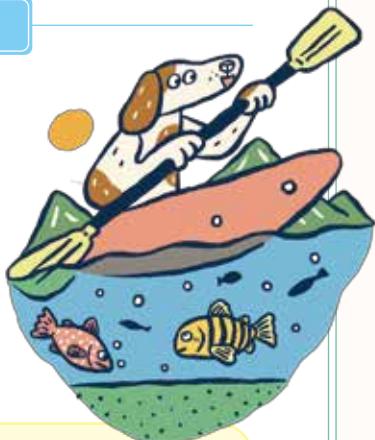
## 民医連の医療と研修を考える医学生のつどい

講演、フィールドワーク、SGD(Small Group Discussion)を通して、社会問題や地域から求められている医療などについて学びます。全国の医学生と交流する中で、多くの価値観に触れることができ、ディスカッションの能力も身につきます。どんな医師になり、どんな医療を行っていきたいか、いっしょに考えてみませんか？



## 夏期離島フィールド

鹿児島民医連の原点は「離島医療」です。「地理的な離島はあっても人の命に離島があってはならない」をスローガンに、本土復帰間もない奄美大島で医療活動を開始しました。ケースワーク(在宅患者の訪問調査)、離島医療に携わっている医師による医療講演、自然文化体験、レクレーションなどを通じて、離島医療をじっくり学ぶことができます。離島で働いている医師、スタッフがみなさんをお待ちしています！



その他にもたくさん学びの場を準備しています！

## 医系学生サポートセンター

鹿児島大学医学部近くに「医系学生サポートセンター」を設置し、医学生のみなさんに憩いの場、学びの場を提供しています。自習室として、学習会の会場として、授業の合間の休憩など、お気軽にご利用ください。

Q. だれでも利用できるの？

A. 医学生であればどなたでも利用可能です。



Q. どういう利用ができるの？（すべて無料）

A. ①コピー機の利用ができます。

②医学書・文庫本・漫画などが閲覧・貸出できます。

③パソコン・インターネットが利用できます。

④病院実習の相談、大学生活の相談、学習企画の案内、奨学金制度の説明なども随時行います。

⑤火曜日に昼食会を行っています。開催についてはSNSなどでお知らせします。

### 昼食会

医系学生サポートセンターの魅力の一つに、「昼食会」があります。担当者や地域の組合員さんが手料理を準備してお待ちしています。気軽に会話を楽しみながら食事ができるので、参加者からは大好評です。



Q. メニューは？

A. 来てのお楽しみです♪

参加費も無料です！

鹿児島大学

医系学生サポートセンター

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 22-6

◎ @minmin\_kgsm



## 奨学生の声を聞きたい

奨学生になったきっかけや  
奨学生になって感じたことを聞いてみました。



民医連を知ったきっかけはなんですか？

受験の時に参加した医師体験や模擬面接・病院見学などを通じて知り、段々と民医連に対する興味が湧いてきました。



奨学生になってよかったことはなんですか？

医学生のつどいやKOMSA(九州沖縄地協医学生のつどい)などの民医連の企画や、全国の医学生による自主企画(医ゼミ)に参加することで全国の学生と知り合うことができました。大学の友達同士では普段なかなか話さないような社会的な話題についてもよく考え、自由に議論できる貴重な場を色々と持てたのはこれからにも活きてくるのかな、と感じています。



将来の医師像はありますか？

入学してから様々な場所で行ってきたフィールドワークを通して、自分の周りにいらっしゃる地域の患者さんと真剣に向き合える医師になりたいと思います。また、一つの物事を多面的にみて考えられる医師になりたいと考えています。民医連の企画に参加することで、様々な考え方を持った人たちに出会いました。その出会いの数だけ視点を増やすように今後も努力していきたいです。



なぜ奨学生になろうと思いましたか？

医学部入学後に初めて鹿児島生協病院で実習したとき、患者さんの家庭や労働環境などの背景まで考えていること、多職種で患者さんに必要な社会資源(制度)は何かまで考えることが、民医連の医療などと知りました。その後、病院実習の中で真摯に患者さんと向き合う医師の姿を見て憧れを抱き、将来こんな医師になりたい！と思い、奨学生になることを決めました。





## 奨学生になってよかったです？



奨学生になると、大学以外の病院実習、研修や勉強会などの企画にどんどん参加することができます。実習や企画を通して、自分が必要だと思った情報やスキル、知らなかった世界を学んでいくことはもちろん素晴らしいのですが、それ以上に、近い将来いっしょに働かせてもらう先生方からいろいろなことを直接教えてもらうことができ、初期研修が始まる前の学生のときから、研修先の先生方に見知ってもらえて仲良くなれること、関係性が構築できること、この点が非常に価値が高いと考えています。



## 将来の医師像はありますか？



第一に患者さんが話しかけやすい医師でいようと努めます（もちろん、医師は専門職ですので、知識や技術は大前提です）。病院は社会の器としての役割が大きく、医師は、公的な立場としても責任がある職業だと考えています。医師が患者さんにとって話しかけやすい存在であること、患者さんの問題解決のために労力を惜しまないこと、正直であることが義務だと考えます。加えて、後輩医師や学生が、この先生といっしょに働きたいと思えるような医師になっていきたいです。



## 新入生へのメッセージをお願いします。



医学部医学科に入学することは、医師人生への第一歩を踏み出すことです。つまり、医学部入学は、一般的な大学入学であることに加えて、医療者としてのスタートの意味合いも含まれていると認識しています。ここからは私自身の体験談になりますが、入学すると最高の仲間が待っていました。自分で決めた人生を、思い切り楽しむ！医学部医学科はそういう想いの人間が、年齢や性別関係なく集まっている場所でした。本当に同期とはかけがえのない存在であり、大変な医学部の勉強も、仲間がいるから一緒に頑張れると実感します。そんな貴重な仲間との学校生活が、楽しくてたまらないです！



未来の医師となるみなさんとともに学び、ともに働くことを楽しみにしながら、少し先で待っています。

## 研修先について知りたい

卒後2年間の初期研修

### 鹿児島生協病院「地域医療のプロ養成」プログラム

基幹型臨床研修病院である鹿児島生協病院をはじめ、15の協力型臨床研修病院と23の研修協力施設から構成されています。研修先の一部をご紹介します。

総合病院

#### A 鹿児島生協病院

〒891-0141

鹿児島市谷山中央5丁目20-10

Tel / 099-267-1455



#### B 国分生協病院

〒899-4332

霧島市国分中央3丁目38-14

Tel / 0995-45-4806



#### C 奄美中央病院

〒894-0036

奄美市名瀬長浜町16-5

Tel / 0997-52-6565



D 離島診療所

#### 南大島診療所

〒894-1511

大島郡瀬戸内町

阿木名1975

Tel / 0997-72-0107



E 離島診療所

#### 徳之島診療所

〒891-7101

大島郡徳之島町

亀津7554

Tel / 0997-83-2131



#### CHECK!

その他の連携施設や  
プログラムの内容については  
[「初期臨床研修医募集」へ→](#)



# OTHER QUESTIONS



Q. 奨学金はいつから借りられる？

A. 大学入学後4月分から貸与を開始できます。随時対応していますのでいつでもご相談ください。

Q. 奨学金の貸与期間は？

A. 奨学金申込申請の行われた月から卒業までの期間で、最長6年間(72ヶ月)です。

Q. 県外大学に通っているけど奨学金を申請できる？

A. 申請可能です。実際に他県の大学に通っている学生も奨学生になっています。

Q. 他の奨学金と併用はできる？

A. 日本学生支援機構の奨学金との併用が可能ですが。その他の奨学金との併用については鹿児島民医連までお問い合わせください。

Q. 奨学金の返済は免除される？

A. 鹿児島民医連の医療機関で奨学金の貸与期間と同一期間勤務した場合、奨学金の返済は免除されます。

Q. 奨学金制度についてもっと聞きたい！奨学金を受けたいと思ったらどうしたらいい？

A. こちらまでお気軽にお問い合わせを！

鹿児島民医連 医学生担当まで TEL 099-266-1531

鹿児島県民主医療機関連合会>〒891-0141 鹿児島市谷山中央 5-4-12

Email igakusei@kagoshima-min.jp http://kagoshima-min.jp/

